

メディア・リテラシー

参加
無料

オンライン連続講座

第①回 2025年12.19(金) 18:30~20:30

メディアと人権 ～フェイクニュースを読む～

私たちは日々、SNSやYoutubeなどのネットメディアを長時間利用しています。情報を集めるのに使ったり、おもしろゴシップ記事をつい読んでしまったり。これって本当？フェイク？と戸惑うこともありますが、もはやメディアなしの生活はできません。

この講座では、ネットの情報と接する際に注意すべきポイントを紹介しつつ、メディアとどんな風につきあつていけばよいのかと一緒に話しあって考えます。



登丸あすかさん

文京学院大学・教員。



田島知之さん

京都府立大学・教員。

「メディアリテラシー」「ジェンダー論」などを担当し、「メディアとジェンダー」「メディアと子ども」などをテーマに地域の市民講座などでもワークショップを実施。関西出身で、2000年代より豊中で毎年メディア・リテラシー講座を担当。

「メディア・リテラシー論」「現代メディア論」などの講義を担当するほか、各地の市民講座、教員講習を担当。NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所理事。著書に『最新Study Guideメディア・リテラシー【入門編】』(共著、鈴木みどり編、リベルタ出版)など。

第②回 2026年1.9(金) 18:30~20:30



田口ローレンス吉孝さん

沖縄大学・地域研究所・特別研究員。専門は社会学・国際社会学。著書『「混血」と「日本人」—ハーフ・ダブル・ミックスの社会史』(青土社、2018年)、『「ハーフ」ってなんだろう？ あなたと考えたいイメージと現実』(平凡社、2021年)。「ハーフ」や海外ルーツの人々の情報共有サイト「HAFU TALK」を共同運営。

メディアにおける差別とデマ ～外国にルーツをもつ人々の経験から考える～

皆さんが日々接しているメディア（新聞、テレビ、SNS、広告など）において、「日本人に合う味」「日本人の髪質（黒髪ストレート）に合ったシャンプー」などのように、単一的な「日本人像」が作られていることに気づいたことはありますか？

この講座では、いわゆる「ハーフ」や「ミックス」と呼ばれる人々、そして外国にルーツをもつ人々が「いないもの」として扱われてしまうようなメディアの現実や、かれらにたいする差別となるデマやフェイクニュースなどの問題とそれらの影響について学びます。

そのうえで、デマや差別をメディア上で見聞きしたときに自分にできること、今すぐに実践できる小さな一步について一緒に考えていきます。

各回定員：①50名②80名(要申込・先着順) 形式：オンラインのみ

※アーカイブ配信はありません。本講座は、参加者同士の意見交換を行うため、お顔を出して（カメラをオンにして）のご参加をお願いしております。受講の際はカメラ機能付きのデバイスをご用意ください。

申込：右記の二次元コードを読み取ってお申し込みください→

※12月4日（木）10時より受付開始。どちらかのみの参加も可能です。



お問い合わせ

公益財団法人
とよなか国際交流協会

所在地：豊中市玉井町1-1-1-601エトレ豊中6階
電話：06-6843-4343 E-mail：atoms@a.zaqq.jp
受付対応時間：9:00~17:30
休館：水曜日・年末年始（12/29~1/3）

【主催】(公財) とよなか国際交流協会

